

ピアノ 特別コース教員紹介



佐藤 恵子 教授

三重県出身。三重県立四日市高校卒業。愛知県立芸術大学音楽学部ピアノ科卒業。桑原賞受賞。同大学院修了。国際ロータリー財団奨学生として渡独。ドイツ国立リュベック音楽大学ピアノ科マスターコース修了。ドイツ国家演奏家資格取得。北ドイツ各地で演奏活動の後に帰国。12回のリサイタル。18回のオーケストラとの共演等幅広く活躍。現在、名古屋音楽大学教授・学長。日本演奏連盟、日本ピアノ教育連盟、日本ショパン協会中部支部、愛知ロシア音楽研究会、愛知芸術文化協会、CBCクラブ各会員、名古屋音楽大学学長。



清水 皇樹 教授

東京藝術大学卒業、1990～1996年パリ・エコールノルマル音楽院、およびモスクワ音楽院留学。ジェルメーヌ・ムニエ、レフ・ナウモフ、ジャン=マルク・ルイサダに師事。ヴィボ・ヴァレンチア国際ピアノコンクール第2位（1位なし）、ソフィア国際音楽コンクール第1位グランプリ他多数受賞。名古屋市民芸術祭 2007 審査員特別賞。

名古屋音楽大学教授、明和高等学校非常勤講師、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員。



大岡 訓子 教授

名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部ピアノ科卒業。同年渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院コンサーティスト科修了。第1回ブルガリア国際コンクールにて、ドビュッシー特別賞受賞。第5回ローマ国際ピアノコンクール・ファイナリスト。1997年から東京・名古屋などにてリサイタルを開催。2002年のリサイタルは、前年度行われたコンサートの中から選ばれ、ザ・コンサートホール・アンコール2002を開催。2009年度より、名古屋音楽大学卒業生のための「ピアノコンサート エクセレント」を主催し、毎年企画している。これまでに、ジェルメーヌ・ムニエ、笠間春子の各氏に師事。

現在、名古屋音楽大学教授。



中川 朋子 教授

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科在学中、モーツァルテウム音楽院（現・ザルツブルク芸術大学）に留学。同音楽院を首席で卒業。更にベルリン芸術大学を卒業後、モーツァルテウム音楽院修士課程を修了。マギスタの称号を取得。第19回イタリア・セニガリア国際ピアノコンクール1位。NHK・FMリサイタル、CBCテレビに出演。東京、名古屋にてリサイタルの他、室内楽奏者としても各地で演奏活動を展開。本年3月ナミレコードよりCDプロコフィエフ：ピアノ版「ロメオとジュリエット」をリリース。これまでに宮城学院女子大学音楽科、愛知県立芸術大学非常勤講師（2014年3月まで）。現在、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師、名古屋音楽大学教授。

声楽 特別コース教員紹介



森 雅史 准教授

富山県高岡市出身。国立音楽大学卒業。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。新国立劇場オペラ研修所第8期生修了。

2001年第19回イタリア・サンタ・マルゲリータ・リグレ国際声楽コンクール第2位受賞。08年第39回イタリア声楽コンコロソでシエナ大賞受賞。同年10月より文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。09年10月よりボローニャ歌劇場付属オペラ研修所に在籍。同歌劇場ではニコラ・ルイゾッティ指揮『サロメ』、ミケーレ・マリオッティ指揮『椿姫』などのオペラ作品やバッハ「マタイ受難曲」、リスト「スターバト・マーテル」といった宗教作品等、数多くの演奏会にソリストとして出演。イタリア国内ではキャリアリ歌劇場やマルティーナフランカ・オペラフェスティバルにも出演を果たす。11年9月ボローニャ歌劇場来日公演、ベッリーニ『清教徒』城主ヴァルトン卿役で出演し好評を博す。12年12月、ドイツ・ドレスデン歌劇場（ゼンパー・オーパー）での『ドリーナとニッピオ/コントラシェーナ』出演を経て同歌劇場ユングス・アンサンブルメンバーとして在籍。14年6月にはイタリア・ナポリ・サンカルロ歌劇場でモーツァルトのレクイエムにソリストとして出演予定。13年7月『岩城宏之音楽賞』受賞。現在、名古屋音楽大学准教授。



©タクミジュン

森谷 真理 准教授

小山評定ふるさと大使。とちぎ未来大使。下総院一音楽賞受賞。

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業、同大学院声楽専攻首席卒業後、渡米しマネス音楽院修了。世界各地のコンクールにて優勝、受賞歴多数。専属歌手を務めたリッツ州立劇場をはじめ、ウィーン・フォルクスオーパー、ライプツィヒ・オペラなど欧米の主要歌劇場で《マリア・ストゥアルダ》《椿姫》表題役、《カルメン》ミカエラ、《トゥーランドット》リユー役等で活躍。2006年には、レヴァイン指揮《魔笛》夜の女王役で抜擢され、鮮烈なメトロポリタン歌劇場デビューを飾り、一躍注目を集めた。国内では2014年びわ湖ホール《リゴレット》ジルダにて日本でのオペラデビューを飾った後、東京二期会《ばらの騎士》元帥夫人、《サロメ》《蝶々夫人》《ルル》表題役、びわ湖ホール《ローエングリン》エルザ、日生劇場《後宮からの逃走》コンスタンツェ等を演じ、卓越したテクニックと表現力でいずれも絶賛され、目覚ましい活躍を見せている。コンサートにおいても国内外の著名指揮者および主要オーケストラとの共演も多く、「第九」をはじめ、モーツァルト/ヴェルディ「レクイエム」等のソリストを務め、高い評価を得ている。2019年には「天皇陛下御即位を祝う国民祭典」にて国歌独唱を務めた。現在、名古屋音楽大学准教授。

ソルフェージュ&音楽理論 特別レッスン教員紹介



柴田 篤志 教授

静岡県沼津市出身。東京芸術大学楽理科卒業、東京芸術大学大学院音楽研究科音楽教育を修了。

洗足学園大学非常勤講師を経て1994年名古屋音楽大学音楽に専任講師として着任。

2002年同助教授、2007年同准教授、2014年同教授並びに同大学院音楽研究科教授。

1996年より愛知県立芸術大学非常勤講師を務める（今日に到る）。

名古屋音楽大学着任以来、夏期・冬期講習会において音楽理論の講師を務める（今日に到る）。



小櫻 秀樹 教授

東京芸術大学卒業、同大学院修了。文化庁在外研修員としてニューヨークに滞在。その後、スウェーデンに渡りストックホルム王立音楽大学大学院修了。これまでに野田暉行、三善晃、Tristan Murail, P. A Ndr Lindgren, Bent S Nxrensenに師事。

スウェーデンと大変深い関わりを持ち、日本-ドイツを拠点として音楽活動を行う。

野村学芸財団奨学金、日本交響財団振興賞、名古屋文化振興賞、第1回武満作曲賞2位、文化庁舞台芸術奨励賞、ベルリン文化科学賞などを受賞。オペレッタ、テクノ音楽、スペインの民謡、子守唄から多大な影響を受ける。伴奏ピアニストとしても活動。

現在、名古屋音楽大学教授。

管楽・打楽 特別コース教員紹介



露木 薫 教授 【ユーフォニアム】

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。在学中、第3回日本管打楽器コンクール第3位入賞。藝大モーニング・コンサートに出演。卒業時には同大学同声会新人演奏会、ヤマハ新人演奏会に出演。同大学院音楽研究科に入学後渡仏、パリ国立高等音楽院にユーフォニアムでは日本人として始めて入学し、審査員全員一致の一等賞にて卒業。パリ国立高等音楽院在学中、第6回日本管打楽器コンクール第1位入賞。ソリストとして、また吹奏楽や管弦楽でのユーフォニアムやバス・トランペットのエキストラ奏者として数多くのコンサートやレコーディングで演奏している。現在は名古屋音楽大学教授として精力的に後進の指導を行っている。



橋本 眞介 教授 【クラリネット】

武蔵野音楽大学卒業。シエナ・ウインド・オーケストラを経て大学4年次に広島交響楽団に入団。1995年よりロータリー財団奨学生としてドイツ国立リュベック音楽大学に留学、クラリネットをザビーネ・マイヤー教授に師事。同大学修了試験を最高点で卒業。1997年帰国し同楽団に復帰。以後NHK交響楽団等、主要オーケストラに首席客演奏者として出演。現在、名古屋音楽大学准教授、エリザベト音楽大学、明和高校音楽科、同朋高校音楽科各非常勤講師、ヤマハオフィシャルクラリネットアーティスト、日本クラリネット協会理事、広島クラリネットアンサンブル主宰。



上田 仁 准教授 【トランペット】

京都市出身、これまでにトランペットを早坂宏明、藏野雅彦、北村源三、UweKomischkeの各氏に師事。第69回日本音楽コンクール(トランペット部門)第1位、併せて松下賞受賞。2004年度青山音楽賞受賞。1997年より金管五重奏団 BuzzFive 主宰、2002年よりシエナ・ウインド・オーケストラトランペット奏者、2007年より東京シティ・フィルの1番トランペット奏者を務める。現在、名古屋音楽大学専任講師、シエナ・ウインド・オーケストラ契約団員、金管五重奏団 BuzzFive 主宰。



高藤 摩紀 准教授 【マリimba】

名古屋音楽大学卒業後、英国王立音楽院大学院演奏家コース修了。Steve Reichに“Nagoya Marimbas”を委嘱、世界初演。“Mallet Quartett”を日本初演。Hector Infanzonのヴィブラフォン協奏曲を日本初演。Google主催第1回YouTube Symphony Orchestra オーディションで合格、カーネギーホールでのコンサートに出演。第2回ドイツ国際マリimbaコンクール審査員。2019年、英国王立音楽院よりARAMの称号を受けマリimbaのマスタークラスを行う。アメリカ Marimba One アーティスト、スペイン Elite Mallet 社より高藤摩紀モデルのマレットが発売されている。